

選考委員賞

環境問題と生き物

六本木中学校 片山 莉菜

少し前に「バーベキューをした時にゴミを捨てていく人がいる」というニュースを耳にした。まず、ゴミを捨てていくということから驚いたが、その後思ったのはゴミを捨てていくことで川が汚くなり、川に住んでいる魚などが死んでしまうということだ。ボランティアで子供達が「ゴミ拾い」をしているのに、大人がゴミを捨てるのはハッキリ言って情けない。大人がそのような行動をすると、子供も同じことをするようになってしまう。子供の教育にも悪い。こういう大人が増えることで川が汚くなったり魚が死んでしまったりする。それは、海にまで及ぶのだ。先々のことを考えてみると、大変なことになるだろう。海が汚れ、私たちが食べている魚も死んでしまったらどうしようもない。

私は、母と「アース」と言う映画を見たことがある。「アース」は、地球の自然や住んでいる動物など私達が見たことのない視界から目を向けてみるというテーマだ。その中でも、一番最初に出てきたのが北極の白くまだった。白くまのメスと子供がスクリーンに映っていて、それは何とも愛らしい姿だった。だが、メスの白くまは体が弱っていた…。それは子供に乳を挙げなくてはならないし、餌もあまりとれないからだ。北極の氷が溶け出して水のかさが増してい

るから餌がとれないという訳だ。結局、そのメスの白くまは死んでしまった。

もう一匹、オスの白くまが出てきた。オスの場合は、子供やメスとは一緒に暮らさず一匹で暮らすのだと言う。そのオスもさっきの白くまと一緒に「地球温暖化」に悩まされていたのだ。白くまの食べる餌がなくなり、飢えていた……。

飢えていた末に、いつもは食べていないオットセイを狙って、向かって行くとオットセイの鋭い牙が白くまの方に向いた。「クウーン」と苦しがつている白くまの鳴き声が映画館全体に響いた。その場面に私は涙した。

この映画を観終わった後、本当に心が痛くなった、なぜか？と言うと、私達の知らない所で苦しんでいる動物がこんなにいるのだと知ったからだ。

動物もこんなに危険なことになっている。それは、北極だけではなく、今では世界中の問題となり私たちにも影響が出るだろう。これからの未来は自分たちのために自然のために動物のために「やらなくてはならないこと」があると思う。

生き物を大切にするには、世界中で問題の「地球温暖化」という高いハードルを越えなくてはいけないが、私たちに越えることができるかと信じている。最初に言った「ゴミを捨てない」や環境対策、できる限りの事をして「アース」に出てきた白くまのような痛々しい姿をもう見ないようにしたい。そして、これからは映画館のスクリーンに美しい海や活発な白くまの姿を見たい。

私は、その日がくるのをずっと待ち続ける。